

2019年12月19日

日本イベント産業振興協会が、日本初「イベント産業規模」を推計 イベント関連拡大産業規模は、2兆2878億円

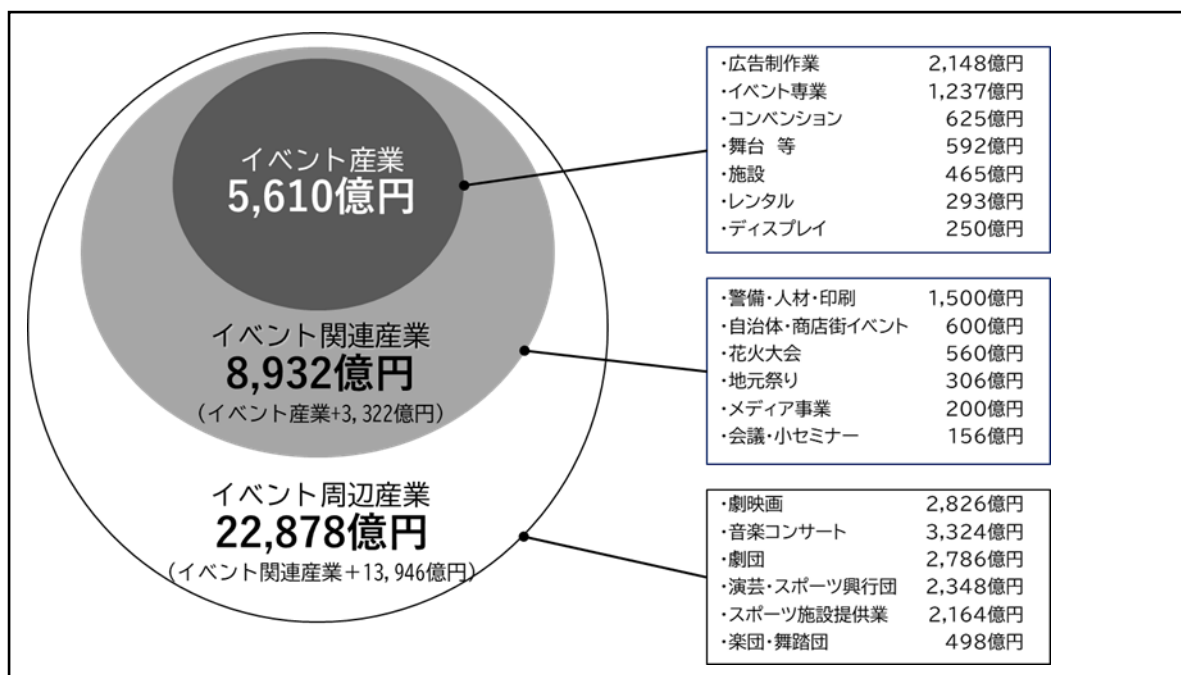
■日本で初めて、イベント産業の規模を本格的に推計

一般社団法人日本イベント産業振興協会(以下 JACE)は、創立 30 周年にあたり、成長が見込まれるイベント産業の規模を、日本で初めて本格的に推計しました。

これまで「日本の広告費」(電通調べ)における「展示・映像」分野の推計などの類似の調査結果がありましたが、JACE では業界団体としての立場から「イベント産業の個別の売上げデータを積み上げる」ことを基本に作業を開始、多様な調査・分析手法を用いてイベント産業の規模を推計したものです。

■イベント産業の産業規模は、5610 億円、イベント周辺企業を含めると 2 兆 2878 億円

広告・制作会社、イベント専門企業など「イベントを主業としている 7 業種＝イベント産業」の産業規模は 5610 億円でした。それに警備業、人材派遣業など「イベントを売上げの一部としている業種・業態＝イベント関連産業」などを加えると産業規模は 8932 億円まで積み上がります。さらに、音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など「広義のイベント」と捉えられる業種・業態までも含めたイベント周辺産業規模は 2 兆 2878 億円と、イベントは裾野が広くボリュームのある産業であることがわかりました。



■一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)の使命として

日本は、本年の「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」、「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」、そして「2025 年日本国際博覧会(「大阪・関西万博」)」と、この数年の間にかつてないような大型イベントの時代を迎えます。また、イベントは従来の企業マーケティング活動にとどまらず、自治体の地域活性化、インバウンド対策、顧客とのエンゲージメント施策など、様々な目的に活用されるようになり、その手法も展示会、博覧会から、コンベンション、フェス等々へと拡張しております。

それに伴って、先端テクノロジーを操るトップクリエイターがイベント領域に参入し、演出面も大きく進化してきました。このようにイベントのビジネススケール、社会的影響力、コミュニケーション手段としての効果、若年層からの注目等々、世の中のイベントを取り巻く環境は劇的に変化しています。

JACEでは、この潮流の変化を見据えて、多種多様な広がりを見せるイベント業界の進むべき方向を見定め、その健全な発展を牽引していくことを目的に様々な活動を行っております。本調査は、イベント産業の将来像や課題を明らかにする基礎資料として、イベント産業規模の推計を行ったもので、この結果をもとにイベント産業の全体像を俯瞰し、イベント産業の次の10年を見据えるとともに、その健全な発展のため様々な活動・施策を加速してまいります。

以上

<調査概要>

調査主体：一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)

調査機関：株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ、株式会社電通ライブ、株式会社メディア開発総研

調査対象・手法：以下の調査に基づき、推計作業を実施

- ① 主要なイベント関連企業へのヒアリング調査
- ② 各種データ(2016年以降に公表された統計など)と組み合わせて分析し、推計

<会社概要>

一般社団法人日本イベント産業振興協会(JACE)

所在地：〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7 一番町KGビル3階

会長：石井 直

イベントビジネスに従事しているプロフェッショナルを対象にした資格検定「イベント業務管理士1級・2級」、学生や将来イベントを実施していきたいという社会人を対象にイベントの基礎知識が習得できる検定試験「イベント3検定」、経済産業大臣賞を頂点とする「JACE イベントアワード」(後援：経済産業省)などを事業展開している。

【本件に関する問い合わせ先】

一般社団法人 日本イベント産業振興協会

専務理事 穂苅、事務局次長 菊地

TEL: 03-3238-7821 / e-mail: pr@jace.or.jp